

# 令和 8 年度赤磐市立小・中学校及び幼稚園

## 遊具及び体育器具定期点検業務 仕様書

### 1. 目的

本業務は、関係法令に基づき、維持管理段階における点検手順に従って施設管理者が行う遊具・体育器具定期点検業務であり、目視・触診・聴診・打診あるいは測定機器を使用した機器診断を、専門の知見を有した専門業者に委託し実施することにより、危険個所・要補修箇所を把握し適切な措置を講ずることにより、事故の発生を未然に防ぐことを目的とする。

### 2. 一般事項

(1) 委託期間 契約締結日から令和 8 年 1 2 月 2 5 日まで

(2) 業務内容

赤磐市立の小学校 1 1 校（旧笹岡小学校を含む）に設置されている屋外遊具と体育館体育器具、中学校 5 校に設置されている屋外体育器具と体育館体育器具及び幼稚園 6 園に設置されている屋外遊具が安全に利用できるように点検・調整し、点検結果及び要補修箇所を報告する業務である。点検対象施設は別紙 1、点検器具等一覧は別紙 4 に記す。

(3) 受注者は、受注が決した日から 1 4 日以内に業務工程表、主任技術者の報告を発注者に行うこととする。

(4) 主任技術者及び業務技術者の資格

① 主任技術者は、(一社) 日本公園施設業協会が認定する「公園施設製品安全管理士」、又は国土交通省の「公共工事に関する調査及び設計等の品質確保に資する技術者資格登録規定」による「公園施設点検管理士」の資格を有する者とする。

② 業務技術者は、(一社) 日本公園施設業協会が認定する「公園施設製品整備技士」、又は国土交通省の「公共工事に関する調査及び設計等の品質確保に資する技術者資格登録規定」による「公園施設点検技士」の資格を有する者とする。

(5) 受注者の負担

① 点検に要する資機材等は受注者の負担とする。

② 製造物賠償責任保険及び工事中賠償責任保険に加入していること。

### 3. 定期点検の実施

(1) 点検について

点検に際しては下記事項に留意することとし、機具の使用に支障がある場合については使用禁止等の措置を講ずるとともに速やかに市担当職員に報告すること。

① 点検は文部科学省「学校の危機管理マニュアル作成の手引き」に準拠した(一社) 日本公園施設業協会「遊具の安全に関する基準《JPFA-S:2014》によること。

② 点検については「劣化点検」を行うこととし、点検に従事する者は客観的かつ専門的知見により劣化状況や補修の有無の判断をすること。

③ 点検シート及び詳細リストを作成し、その内容により点検を実施し、判定基準によ

り判定し報告すること。判定基準は別紙 2、点検項目（参考）は別紙 3 に記す。

- ④ 点検の開始は市担当職員と協議し決定し、完了時には市担当職員へ速やかに報告すること。
- ⑤ 点検作業時には児童・施設関係者・施設訪問者に十分留意し、安全を確保して実施すること。
- ⑥ 軽微な補修及び修繕（ネジ・ボルト等の増締め・交換、機具可動部の清掃・注油等）は必要に応じて行うこと。
- ⑦ 支柱等の基礎部分の点検における地表との接地部分の確認は、G.L から 10cm 程度掘り下げて腐食等の確認を行うこと。また、ボルト等の確認は細部にわたって行うこと。

#### (2) 留意事項

- ① 学校施設を破損した場合には、受注者の責任において原状復旧すること。
- ② 本業務において協議すべき事案が発生した場合には速やかに市担当職員に報告し、その指示に従うこと。

#### 4. 点検報告

点検完了時には、点検シート及び詳細リスト・写真、その他必要に応じて図面等を添付した遊具・体育器具点検報告書を施設毎に作成し提出すること。

- (1) 写真は業務名・施設名・点検項目・実施年月日・点検者を明示し、点検作業中に撮影すること。
- (2) 破損等を確認した場合には、使用する際の支障の有無に関わらずその状態を撮影すること。
- (3) 報告書は紙媒体及び電子データにより提出すること。

様式は市担当職員の確認を得たうえで、受注者所有の様式で可とする。

#### 5. その他

- ・ 履行期間中において、遊具・体育器具の異常等により緊急対応が必要となった場合には、速やかに双方協議の上補修を行う。補修にかかる費用は発注者の負担とする。その他交換部品等が発生した場合にも同様とする。
- ・ 本業務に際し疑義が生じた場合は、市担当職員と協議すること。また、本業務委託仕様書に定めのない事項については「都市公園における遊具の安全確保に関する指針（改訂版、平成 26 年 6 月）」を準用すること。

別紙 1 〈点検対象施設〉

施 設 名		住 所	電話番号
小学校	山陽小学校	赤磐市上市 123	086-955-0049
	山陽西小学校	赤磐市山陽 3-1	086-955-2002
	山陽東小学校	赤磐市桜が丘西 3-30	086-955-1911
	山陽北小学校	赤磐市桜が丘西 8-23	086-955-2858
	赤坂小学校	赤磐市町苅田 64	086-957-3026
	みんなの学び舎 (旧笹岡小学校)	赤磐市惣分 7	086-957-2621
	豊田小学校	赤磐市松木 569	086-995-0015
	磐梨小学校	赤磐市沢原 55-1	086-995-0031
	桜が丘小学校	赤磐市桜が丘東 6-6-693	086-995-0035
	城南小学校	赤磐市黒本 129	086-954-0700
	仁美小学校	赤磐市仁堀中 888	086-958-2115
中学校	高陽中学校	赤磐市上市 51	086-955-0004
	桜が丘中学校	赤磐市桜が丘西 5-12	086-955-3211
	赤坂中学校	赤磐市町苅田 425-1	086-957-3014
	磐梨中学校	赤磐市沢原 149	086-995-0004
	吉井中学校	赤磐市周匝 161	086-954-0204
幼稚園	山陽幼稚園	赤磐市高屋 434	086-955-0309
	山陽西幼稚園	赤磐市山陽 3-10	086-955-8787
	ひかり幼稚園	赤磐市桜が丘西 3-30	086-955-3811
	山陽北幼稚園	赤磐市桜が丘西 9-13-1	086-955-8155
	いわなし幼稚園	赤磐市沢原 357	086-995-0551
	桜が丘幼稚園	赤磐市桜が丘東 6-6-692	086-995-1275

別紙 2 〈判定基準〉

○機能に関する総合判定

判定	判定内容
A	健全であり、修繕の必要がない（使用可）。
B	軽微な異常があり、経過観察が必要（使用可）。
C	異常があり、修繕又は対策が必要（修繕完了まで使用不可）。
D	危険性の高い異常があり、緊急修繕が必要。 場合により破棄し更新を検討（使用不可）。

## ○劣化診断

判定	判定内容
a	健全な状態（使用可）。
b	軽微な劣化がある状態（使用可）。
c	修繕の必要な劣化がある状態（修繕完了まで使用不可）
d	危険性の高い異常があり、緊急修繕が必要。

## ○塗装の評価

判定	判定内容
a	健全な状態（使用可）。
b	軽微な塗装剥離があり、経過観察が必要な状態（使用可）。
c	全体的に塗装剥離があり再塗装が必要な状態。
d	危険性の高い異常があり、緊急修繕が必要。

## 別紙3 〈点検項目（参考）〉

- ・腐食の有無とその度合い
- ・破損の有無
- ・摩耗状態（回転部分を含む）
- ・部材の消失
- ・ぐらつきの有無とその度合い
- ・ボルト等の緩みの有無
- ・付属機具（衝撃吸収材等）の状態
- ・ロープ等の状態（摩耗, 断線, ほつれ等）